

2025年度 第7回 理事会 抄録

日 時： 2026年1月10日（土） 9：30～15：47

場 所： 日本理学療法士協会会館

出席者

理 事： 斉藤、大工谷、佐々木、高橋、湯元

白石、板倉、長谷川、森本

伊藤、内山、江草、大西、岡持、小川、沖原、大西、熊崎、永野、野崎、

松井、山根

監 事： 太田、櫻田、辺土名

欠席者

理 事： 吉井、谷口

監 事：

I. 審議事項

(全5題)

1. 第61回日本理学療法学会学術研修大会 in 福岡の最終企画案・予算案について (第61回日本理学療法学会学術研修大会 西浦大会長)	承認
第61回日本理学療法学会学術研修大会 in 福岡の最終企画案・予算案について審議がなされ、総員賛成で承認された。	
(主な内容) 第61回日本理学療法学会学術研修大会 in 福岡の企画・予算案において、前回2025年3月1日開催の理事会へ提出し承認を得た内容からの変更案について審議がなされた。	
(主な意見) ・ 市民公開講座で工藤氏に話していただく内容について、例えばスポーツと理学療法的なことなど、既にお考えがあれば教えていただきたい。 →現時点で詳細は未定である。しかし、スポーツなどを含め、理学療法にまつわるものになればと思っている。テーマのご提案があればいただきたい。	
2. 2027年度生涯学習制度改定案について (湯元副会長)	承認
2027年度生涯学習制度改定案について審議がなされ、総員賛成で承認された。	
(主な内容) 2025年12月に開催された理事懇談会の結果を踏まえ、2027年度までは主に登録理学療法士および認定・専門理学療法士の更新要件を見直し、2029年度には前期・後期研修を含む制度全体の再構築を進めていく予定である。 2027年度における改定内容並びに改定にかかるシステム改修費用、加えて今後の2027年度生涯学習制度改定	

に伴い軽微な修正等が生じた場合には、執行権限の範囲内で適宜対応し、会員への周知を図ることについて審議がなされた。

(主な意見)

- ・ 職能団体の役割を踏まえ、カリキュラムの中に政治や政策などをより多く織り込んでいただきたい。
→カリキュラムの内容等に関しては、2029年度改定で検討する方針である。
- ・ 登録理学療法士を2029年3月に先延ばしにしたことで、その間、協会が掲げた資格保有率100%、あるいは60%に向けて、相当力を入れてやっていく必要があると思われる。また、活動制限と表現されていたが、取得された方と延期された方の双方に配慮しなければならない。難しい舵取りになるのではないかと。
- ・ 今回の改定は、インセンティブの考え方を踏まえつつ、選択肢を増やして取得しやすくし、実行可能性を高める点に主眼が置かれている。一方で、質や卓越した人材の育成が以前より強化されたとは言いがたい。そのため、各資格が示す能力の文言整理を行い、資格の位置づけとプログラム変更との間に不整合がないか確認する必要があると考える。
- ・ 専門理学療法士を分野別研修とする考えには一定の理解がある一方、認定理学療法士を協会が担う場合、共通カリキュラムを完全に廃して分離してよいのかという疑問がある。
- ・ 会員の学習状況や活動実績等が可視化されることになるよ改正であると考え。会員への周知が十分でなければ、2029年にも更新未完了者が多いということになりかねない。周知方法について工夫していただきたい。
- ・ 資格を取ることによって職場でインセンティブが生じるような取り組みについて検討いただきたい。
- ・ 生涯学習制度に関しては、都道府県士会や代議員は、組織率や会員数、取得者数などの影響を心配している。登録更新に向けて日々研鑽している会員を守り、会員であり続けていただくような視点を持っていただきたい。
- ・ 専門理学療法士でベテランになればなるほど、筆頭演者で研究論文を発表することはあまりないので、座長や司会なども認めてもらいたい。

3. 理学療法週間を理学療法月間に変更する件について

(長谷川常務理事)

承認

理学療法週間を理学療法月間に変更する件について審議がなされ、総員賛成で承認された。

(主な内容)

理学療法週間は、理学療法の日である7月17日を挟む前後1週間と定められているが、全国一斉イベントの開催日として設定している理学療法の日の前週の日曜日が含まれない場合もあり、かつ、士会では理学療法週間、全国一斉イベントには該当しない日程にてイベントを開催している場合もある。

本会としては、60周年の節目を機に「理学療法月間」と改めることで、士会が7月中に理学療法の啓発のために行う事業を「理学療法月間に開催されるイベント」として周知を図ることについて、審議がなされた。

(主な意見)

- ・ 内外に広めていくことは全く問題ない。今は市町村事業などにも結構入り込むなど活発になっており、ネットワークがだんだん広がっていている。そのネットワークをどの程度巻き込むつもりか。
→多岐にわたり、情報が埋もれないよう周知していきたい。今後SNS等も活用し、あらゆる方策を練ってきたい。
- ・ 2025年にWorld Physiotherapy Congress2025を開催したレガシーとしても、世界の理学療法の日(World Physiotherapy Day)の開催をあわせて検討していただきたい。

- ・ 理学療法月間を設ける意味と対象を確認したい。
→まずこの提案に至った経緯については、過去、理学療法週間と言いながら、イベントの日がずれており、一般国民としては、「週間」なのに、全く違う日にイベントを行っていると感じた。調査の結果、36%が理学療法の日や全国一斉イベントでない日にイベントを行っていると判明した。そうであれば、月間にして誤解のないようにしたい、広い意味で理学療法を周知したいという意図があり、今回の提出に至った。

4. 2026年度事業計画並びに予算案について

(斉藤会長、白石専務理事)

承認

2026年度事業計画並びに予算案について審議がなされ、総員賛成で承認された。

(主な内容)

2026年度事業計画総括(案)および予算(案)は、理事懇談会(2025.9.16)、理事会(2025.10.4)、組織運営協議会(2025.10.11)での意見を踏まえて修正した第二次案に対する意見を踏まえた第三次案を、常任理事会(2025.11.18)、業務執行理事会(2025.11.24)、常任理事会(2025.12.5)で協議し、いただいた意見を踏まえた第四次案を理事懇談会(2025.12.6)で提示・議論した。今回最終案を提示し審議がなされた。

(主な意見)

- ・ 基本的には賛成だが、損益でマイナスが増加した理由について簡単に追加説明をお願いしたい。
→主な要因は、教育推進課のコンテンツなどの作成費用が上乗せとなったことだ。

5. 新入会員の承認について(動向報告および賛助会員の入退会等含む)

(斉藤会長、大工谷副会長、吉井副会長、佐々木副会長、高橋副会長、湯元副会長)

承認

新入会員の承認について審議がなされ、総員賛成で承認された。

賛助会員の入会について審議がなされ、過半数以上の賛成を得て承認された。

(主な内容)

定款第6条により、2025年9月2日～2025年12月1日の間、新たに申請をした正会員950人、賛助会員の入会1件について審議がなされた。

<賛助会員 入会>※2026年2月1日付入会

●株式会社メドレー

【事業内容】

人材プラットフォーム事業

医療プラットフォーム事業

【入会理由】

協会活動の趣旨に賛同し、理学療法分野の発展に寄与しうる連携・情報交換の機会を持ちたく入会を希望する。

(主な意見)

- ・ 賛助会員の株式会社メドレーについて、人材プラットフォーム事業とのことだが、具体的にはどういうことをしているのか。
→人材プラットフォーム事業に関しては、人材採用システムの運用をされており、求職者と事業所のよりよいマッチングや、医療ヘルスケア分野の人材不足の解決に向けてマッチングをしている。医療プラットフォーム事業に関しては、主に医療機関の業務効率化支援を行っている。

- ・人材のマッチング事業については、ご承知のとおり業界で大きな問題となっているので、そこは慎重に見極めた方がよい。
- ・新入会員と賛助会員は別で採決した方がよい。

II.報告事項

(全 11 題)

1. 2025年度 第3 四半期職務執行状況報告

(斉藤会長、大工谷副会長、吉井副会長、佐々木副会長、高橋副会長、湯元副会長、白石専務理事、板倉常務理事、谷口常務理事、長谷川常務理事、森本常務理事)

2025年度 第3 四半期職務執行状況報告について、報告がなされた。

(主な内容)

2025年10月~12月まで(第3 四半期)の業務執行状況について報告がなされた。

<業務執行権を有する理事>

- 1 斉藤会長
- 2 大工谷副会長
- 3 吉井副会長
- 4 佐々木副会長
- 5 高橋副会長
- 6 湯元副会長
- 7 白石専務理事
- 8 板倉常務理事
- 9 谷口常務理事
- 10 長谷川常務理事
- 11 森本常務理事

(主な意見)

- ・国際関係の諸事業について、以前のシンガポール理学療法士協会との関係や、日韓の理学療法士協会同士の行き来などの現状や今後のことについてお伺いしたい。
→2国間のMOUはシンガポール、韓国など幾つかと結んでおり、継続するように進めていこうとしている。台湾、韓国、日本の若い人たちが集まってイベントを行うなど、協会のトップ同士の交流だけでなく若い人たちの交流も含め、活動は増加している。
- ・DXについては、韓国などでは相当進んでいる。海外との連携によって色々な知恵を得られるので、今後、ジョイント事業などをご検討いただきたい。
- ・コロナの前、日本訪問看護財団などと、訪問看護も含めた制度、政策の融和に向けた共同事業を2020年2月周辺に一度行った。それきりになったと思うが、その事業はどうなっているか。
→共同事業として研修を3回ほど開催した。その後も継続的に意見交換を行っていたが、そもそもの目的である両団体の関係構築は十分に達成できたと考える。報酬などを一緒に進めていくことに関しては前よりも進んだ。
- ・スクールトレーナーについて、弁護士に登壇いただき、理学療法士が教育現場で働くに当たってのコツをお話いただいたとの報告をいただいた。次年度はこうした内容が会員に広く伝わるような事業を企画していただきたい。
- ・医療的ケア児の学校生活での医療的サポートについて、学校看護師と呼ばれるものが動き始めている。学校保健のくくりの中で理学療法士とタッグを組むところもあると思われ、学校に行けば学校関係者からの質問等がある可能性もある。情報を共有しながら進めたいので連携をお願いしたい。
- ・学校保健の説明にて部活動の話があった。部活動の地域移行に関しては、どの市区町村でも事業者がいなく

て困っており、ニーズが高いと思われる。今後、しっかりとプログラムをしていただきたい。

2. 2026年度理事会等諸会議の日程について

(白石専務理事)

2026年度理事会等諸会議の日程について、報告がなされた。

(主な内容)

2026年度の理事会等諸会議の日程について、報告がなされた。

【主な変更箇所】

・理事懇談会

2026年度は多数の規定改定が予定されているため、4月に第1回理事懇談会を開催し、年間4回開催を5回開催とした。

なお、2027年度は年間5回開催を4回開催とし、第1回理事会を午前開始とした。

・業務執行理事会

18:00～21:00の3時間開催を基本とした。

・学会運営協議会について

学会運営協議会運営規程第4条第2項により、原則として8月開催のため、8月1日の開催に変更とした。

・組織運営協議会

10月に開催される組織運営協議会については、WEB形式での開催とした。

(主な意見)

特になし

3. 第60回日本理学療法学会学術研修大会 大会報告・監査報告

(湯元副会長、太田監事、櫻田監事、辺土名監事)

第60回日本理学療法学会学術研修大会 大会報告・監査報告について、報告がなされた

(主な内容)

2025年5月31日、6月1日に開催された第60回日本理学療法学会学術研修大会について、11月30日に監査を終了したため、報告がなされた。

(主な意見)

特になし

4. 理学療法白書の発行周期見直し(隔年化)について

(白石専務理事)

理学療法白書の発行周期見直し(隔年化)について、報告がなされた。

(主な内容)

本会が発行している「理学療法白書」については、現在は毎年度発行としているが、①購入部数の減少②事務局負担の大きさ③発行経費が高額の理由から、2026年度から隔年発行とすると報告がなされた。
なお、白書に掲載していた基礎統計等については、年度内に Web 公開資料として適宜更新し、情報提供に支障が生じないよう対応する。

(主な意見)

・方向性は賛成だが、基礎統計情報等を本会ホームページに公開するのであれば、それ以降の白書にも載せないようにするなど、財務健全性の担保について検討いただきたい。

5. 会長行動録について (10~12月)

(斉藤会長)

会長行動録について (10~12月) について、報告がなされた。

(主な内容)

2025年10月、11月、12月分の会長行動録について報告がなされた。

(主な意見)

・リハビリテーション議員連盟の際に様々要望するが、一番推進したいことは何か、ある程度、押しておかなければならない。100%押し戻されることはわかっているのだが、押した実績を残しておかなければ、押し戻されっ放しでどんどん行ってしまうと懸念する。国会議員がいるのであるから、国に言うべきことはきちんとやったほうがよいと考える。

6. 事務局報告について (10~12月)

(白石専務理事)

事務局報告について (10~12月) について、報告がなされた。

(主な内容)

以下の点が報告された。

1. 会員動向
2. 財務報告
3. 賛助会員数
4. 公文書発信収受件数
5. 後援許可
6. 協賛許可
7. 共催許可
8. 事務部門報告

(主な意見)

・国家試験合格者数に対する新規入会者数が右肩下がりになっている。新規入会し、入会し続けられる仕組みを継続的に行っていく必要があると考える。入会率が50%を下回らない対策が必要であり、そのためには広報との連携が重要であると思う。
・中間監査報告でも言及があるが、監事団より組織について効果が出ていないと指摘されている。執行部とし

ては、対策として何をするのかを改めて考え直し、打つ手を変えていかなければならないと考える。

7. 監事監査規程についての件

(太田監事、櫻田監事、辺土名監事)

監事監査規程についての件について、報告がなされた。

(主な内容)

2023年の規程集への弁護士レビューを受け、その結果を監事団で協議した結果、変更案を承認した。ここに、本規程の報告をもって改定施行すると報告がなされた。

(主な意見)

特になし

8. 2026年度理学療法士講習会の公募結果について

(湯元副会長)

2026年度理学療法士講習会の公募結果について、報告がなされた。

(主な内容)

2026年度理学療法士講習会を助成金事業として下記のとおり公募を行ったので、結果の報告がなされた。また、助成金対象の講習会の決定の報告がなされた。

【概要】

公募期間：2025年10月1日（水）～11月9日（日）

件数：28件

【助成金有無】助成金有：28件

【開催形式】オンライン開催：13件、オンライン・対面併用開催：5件

対面開催：10件

(主な意見)

特になし

9. 職能動画一覧チラシ同封による効果判定報告

(佐々木副会長)

職能動画一覧チラシ同封による効果判定報告について、報告がなされた。

(主な内容)

JPTA ニュースに同封をした職能動画チラシ効果について検討をしたので報告がなされた。

(主な意見)

特になし

10. 2025年度補正予算および2026年度予算等の獲得に向けた政策企画課の政治活動報告

(佐々木副会長)

2025年度補正予算および2026年度予算等の獲得に向けた政策企画課の政治活動報告について報告がなされた。

(主な内容)

2025年度補正予算および2026年度予算等の獲得に向けた政策企画課の政治活動を行ったので報告がなされた。

○9月に厚生労働委員会所属議員を対象に行った秋の臨時国会に向けたリハ議連所属議員への議員レク（予算概算要求要望の内容を中心に）を、10月には予算委員会所属議員を対象に実施をした。国会質疑につながる説明と関係構築に努め、実効性のあるものにしていきたい。

○また、11月・12月には補正予算と次年度予算の獲得（処遇改善と診療報酬改定、介護報酬と障害福祉サービス等報酬の期中改定等）に向けた要望活動を、組織内議員、作業療法士協会、言語聴覚士協会とも強固に連携しつつ、会長を筆頭に、過去にないレベルで実施をした。

○以下のような、補正予算、次年度予算に係る政務調査会、国会審議スケジュールを見据えた政治活動については、政策企画課のルーチン業務と次年度以降も実施できるように、仕組み化を図ってまいりたい（これまで会長が1人で行ってきた議員会館回りを含む）。

(主な意見)

特になし

11. 常任理事会の会議報告について

(白石専務理事)

常任理事会の会議報告について、報告がなされた。

(主な内容)

常任理事会を開催したので、報告がなされた。

2025年9月9日開催常任理事会 議題

- ・令和9年度報酬改定（介護・障害福祉）に向けた今期・中期目標（案）および重点要望事項（案）について
- ・組織運営協議会の議題について
- ・一定年数以上、会長を務めた役員に「名誉会長」の称号を付与する件
- ・（一財）自治体国際化協会からの研修依頼と対応について
- ・令和10年度科学研究費助成事業（科研費）の公募から適用する「審査区分表」の改正案について
- ・第5回アジア理学療法フォーラム 報告書について

2025年9月25日開催常任理事会 議題

- ・演題管理システムの開発に関して
- ・世界理学療法連盟 AWP 地区総会・学会 2026 における低所得国の代表者を支援する奨学金基金について
- ・NHK「あしたが変わるトリセツショー」への調査協力について
- ・理学療法士協会が進めるべき DX について4
- ・台湾理学療法士協会 50 周年事業（スーパーエイジフォーラム）への参加報告
- ・World Physiotherapy 年次会員調査について

2025 年 10 月 21 日開催常任理事会 議題

- ・World Physiotherapy の Specialty group である IOAPT への加入について
- ・世界理学療法連盟 AWP 地区学会 2026 における登壇者の推薦について
- ・第 62 回日本理学療法学会学術研修大会 in 福島の企画案について
- ・2026 年 1 月～4 月開催の理事会・理事懇談会の時間変更および新規追加について
- ・JICA 連携事業における海外協力隊短期派遣候補について(2025 年度第 2 回カンボジア)
- ・政策提言に関わる政党対応の在り方の在り方について

2025 年 11 月 4 日開催常任理事会 議題

- ・会報誌発行時の全会員へのメール配信について
- ・世界理学療法連盟新規加盟申請に関するオンライン投票について
- ・令和 8 年度理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教員等講習会への本会方針について
- ・2026 年度事業計画総括（案）第二次案について
- ・（一財）自治体国際化協会からの研修依頼について(報告)
- ・世界理学療法連盟 AWP 地区学会 2026 における登壇者の推薦について

2025 年 11 月 18 日開催常任理事会 議題

- ・第 16 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会におけるジョイントシンポジウム共催の承諾および座長推薦について
- ・監事調査報告（会長交際費）への回答案について
- ・第 63 回日本リハビリテーション医学会学術集会合同企画における座長・シンポジスト推薦依頼への対応について
- ・中間監査事前監査講評について
- ・奈良勲相談役(第 6 代会長)ご逝去に伴う本会の対応について
- ・政党議員連盟（議連）・政策要望活動に関する報告

(主な意見)

特になし

以上